



シーズ 2

“血栓”から命を守る 地域の食材で挑む新戦略

医学部 法医学講座 教授 近藤 稔和

キーワード：エコノミークラス症候群，突然死予防，脳梗塞，災害被災者

シーズ概要

血栓による病気は、脳梗塞や心筋梗塞、深部静脈血栓症など、命に関わるさまざまな疾患を引き起こします。これらは、体質や肥満、加齢、薬の使用、妊娠、がんなど複数の要因が重なって発症すると考えられています。

近年では、災害時の避難生活などで長時間動けない状態が続くことにより、血栓ができやすくなる「エコノミー症候群」としても注目されています。

血栓がどのようにでき、なぜ溶けにくくなるのか、すべては明らかになっていませんが、私たちの研究室では、体内にある特定の成分が血栓を溶かす働きに関わっていることを見つけています。

今後は、地域の食品に含まれる体によい成分に着目し、それを活用して血栓症を予防・治療する新しいアプローチの開発を目指しています。

応用が期待される分野・製品

- 1.天然由来の抗血栓成分の発見とその作用機構の解明
- 2.食品機能性評価（フードファクター研究）を通じたサプリメント・機能性食品への展開
- 3.災害時・高齢者向けの簡便な血栓予防手段の開発
- 4.医薬品開発につながる先導的候補物質の抽出と評価

本研究は、地域の豊かな自然資源や伝統的食品に着目し、これを地域発の予防・治療医療戦略として昇華させる取り組みです。健康寿命の延伸や災害医療支援、高齢者の血栓予防にも直結する社会的インパクトが見込まれます。

企業に期待すること

「地域の食が、命を守る医療資源になる」——それが本研究のビジョンです。

本研究では、血栓症という命に関わる疾患の予防・治療に向け、地域の資源を活用したアプローチに挑戦しています。

基礎研究に加えて、企業との連携を通じて製品化・社会実装へとつなげていくことを強く志向しており、「研究×地域×産業」の共創を実現したいと考えています。

技術・資源・販路の観点から、共にこのビジョンを実現してくださるパートナーを広く募集しています。

関連文献・特許等

1. DOI: 10.3389/fimmu.2019.03150
2. DOI: 10.1161/ATVBAHA.118.311194
3. DOI: 10.1172/JCI40782